

堺広長2世の会だより

堺原爆被害者1世・2世の会ホームページ

<http://www.sakai-hibakusha.org>

会長 南野仁宏
編集 広報部
南野晋由
小林司良
事務局 小林 治

TEL/FAX 072-289-5025

謹賀新年

堺原爆被害者2世の会

会長 南野仁宏

新年明けましておめでとうございます。
堺原爆被害者2世の会のみなさんにおかれましては、新年を迎え、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

新しい年を迎えるにあたり、2世の会を代表して、一言ご挨拶申し上げます。

昨年は、歴史的な動きがあった年でした。原爆投下国アメリカの現役大統領であるオバマ氏が、被爆地の広島を訪問し、平和公園で原爆慰霊碑への献花を行い被爆者の前で「恐怖の論理にとらわれない勇気を持ち、核兵器のない世界を追求しなければならぬ」と演説しました。長年被爆地訪問を切望されていた被爆者の方々が、この瞬間をどれほど待ち望んでいたことか、その気持ちを思うと、もつと早くに実現させて欲しかったと思いました。

私も前日(五月二十六日)より広島入りし、この歴史的な瞬間に立ち会うことが出来ました。当日(五月二十七日)の平和公園周辺は、物々しい警備の為、近寄ることすら出来ませんでした。同じ地でリアルタイムに体験出来たことに、自分なりの達成感と、核兵器全廃の決意を新たにしました瞬間でした。

しかし一方で、十月二十七日にニューヨークで開催した国連総会第一委員会、「二〇一七年に核兵器禁止条約交渉のための会議を開催する」決議に対し、核非保有国の賛成多数で採択されたものの、唯一の戦争被爆国であり、核兵器の非人道性を訴えてきた日本は、なんと反対したのです。私個人としては、結局日本が同盟国であるアメリカの核の傘の下にあるという、国際社会での立場に配慮し、本音を曝け出しただけと言わざるを得ません。

この結果は非常に残念であり、表現は失礼ですが日本政府の「二枚舌」としか言いようがありません。改めて核廃絶運動の複雑な厳しさを実感しました。

ただ私たちは、このような矛盾が蔓延る中に於いても、「核と人類は共存できない」「核は絶対悪である」と言う信念に基づいて、核兵器は人類にとって脅威であり、いかに非人道的であるかを唯一の被爆国の立場から、次世代へ継承し続けていかななくてはなりません。

最後になりましたが、今年一年が、皆さんにとって、輝かしい一年でありますよう、心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

堺市長 竹山 修身

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、清々しい新年を健やかに迎えることと心からお慶び申し上げます。また旧年中は、堺市政の推進に温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

貴会におかれましては、被爆の実相を被爆者本人から正確に受継ぎ、次世代へ確実に繋げる核兵器廃絶に向けた活動に積極的に取り組んでおられます。皆様の活動に対し、改めて深く敬意を表する次第です。

さて、昨年5月には、アメリカのオバマ大統領が、現職の大統領として初めて広島を訪問されるという歴史的な出来事があり、大統領は、「核なき世界」を改めて訴えられました。しかし、世界では今なお、一部の国で核実験が強行されるとともに、紛争や内戦も後を絶たず、多くの尊い命が失われています。

本市におきましては、非核平和都市宣言の趣旨を踏まえ、核兵器のない平和な社会の実現に向け、粘り強く取り組んでまいりますので、どうか、皆様には、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。結びにあたりまして、堺原爆被害者2世の会のますますのご発展と、皆様のご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

前大阪府議会議員 樋口 昌和

堺市長2世の会の皆様に新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、例年にも増して、地震・台風などの自然災害に世界規模で被害を受けた年であったように思います。これからも地球温暖化による目に見えない影響が益々起こってくるのかも知れません。その上、これまで世界をリードする大国であったアメリカ合衆国の大統領選挙結果にこれからの世界の金融、貿易のみならず、核の問題においてもいっただいどうなるのか甚だ心許ない限りです。彼に良心への訴えがどこまで通じるのかさえ予想がつきません。しかし、「蓮、麻中に植うれば・・・」という言葉の如く、良識ある側近のサポートがあれば、間違いない方向に進めていくことも可能でしょう。

私たちにできる「一人一人の心に訴えて行く」作業を諦めることなく続けて参りたいと思います。

最後になりましたが、会の皆様の御健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

堺市議会議員 大毛 十一郎

新年明けましておめでとうございます。

ご家族お揃いで希望の新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年の干支は、丙酉（ひのと・とり）俗

にいう酉年です。今年は、協調精神を高めることが如何に大切であるかを教えてくれる一年になるようです。企業活動においても、宝物であります従業員をより輝かせるために、そして、本年を乗り越えるためにも、それぞれの企業理念の徹底を図るという原点に立ち戻ることが大事だと言われています。

昨年は、原爆被害者の会の皆様、高齢化による後継者不足を心配され、戦争体験を後世に継承し続けるためにDVDを制作されました。

後継者である『二世の会』の皆様が元気に活発に活動されることが、これまで以上に求められて参ります。原爆被害者を父や母に持つ二世の会の皆様、父母の苦しみを後世に継承し続ける役目があることを忘れず、今年も共に頑張つて参りましょう。素晴らしい活動が展開されますようにご祈念申し上げます。

堺市議会議員 池田 かつし

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。私も、平成十九年に堺市議会に送っていただき、本年度で九十年を迎えることになりました。これもひとえに

貴会の皆様のお陰でございます。重ねて御礼申し上げます。

さて、昨年は米国でドナルド・トランプ氏が次期大統領に決定いたしました。今後の経済や外交政策において、我が国へも影響が懸念されます。また、トランプ氏は日米同盟を交換する旨発言するなど、平和を希求する我が国の今後の防衛政策が注目される所です。

昨年、オバマ氏が米国の現職大統領として初めて広島を訪問しました。私たち日本人にとりましては、広島、長崎は平和への祈りのための地と言えます。戦後を知らない世代が国民の多くを占めるなか、あの悲惨な戦争の記憶が急速に失われつつありますが、我々は広島、長崎の悲劇を決して繰り返してはなりません。

私自身も貴会の皆様とほぼ同世代の一員として、今後とも精一杯サポートさせていただきます。所存でございます。そして、我が国の平和と住民福祉の向上のため、一心不乱に堺市政に取り組んでまいります。どうか、本年も変わりがませぬご交誼を賜りますようお願いを申し上げます。新年を迎えたご挨拶とさせていただきます。



迎春

元堺市議会議員	小郷 一
元衆議院議員	森山 浩行
堺市議会議員	城 勝行
堺市議会議員	大林 健二
堺市議会議員	成山 清司
前堺市議会議員	田中 浩美
堺市議会議員	小堀セイジ
堺市議会議員	淵上 猛志

役員の方賀挨拶

あけましておめでとうございます。今年も被爆地を訪れたいと思います。 小林 治

あけましておめでとうございます。本年も宜しく願います。原爆展示会に皆さんで観に来て下さい。 久保河内 ヒデ子

新年明けましておめでとうございます。 渡辺 久子
戦後七十二年、世界情勢は間違った方向へ進みそうです。平和の大切さを決して忘れず、守っていかねばなりません。

新年明けましておめでとうございます。 片岡 文子
今年新しく出来るDVD（語り部）・紙芝居（被爆体験）の普及とその制作費用の寄付集めに頑張りたいと思います。一緒によろしく願います。

あけましておめでとうございます。 松永 美智子
今年若い世代の人達に繋げていけるよう、様々な工夫をしていきますので、よろしく願います。

今年戦後七十二年目を迎えます。戦争と核兵器のない平和な世界が訪れる事を願って止みません。今年も一同、力を合わせ活動していきます。 伊東 博子

あけましておめでとうございます。 小林 司良
長崎に行き、祈念式典にも参加させて戴き、被爆地にも訪問し、原爆の悲惨さを改めて膚で感じ、勉強させて頂き、平和の有難みを知りました。今年も宜しく願います。

核兵器根絶をめざす原爆講座

第7回 終わりに 核兵器なき世界へ

これまで6回に及んだこの講座も、今回で一区切りを迎えます。最後に、将来への展望をいかに開くのか、という点を考えてみましょう。

さて、私たち堺市民にとっては、誇るべき大切な文書があります。それは1983年に市議会で可決された堺市の非核平和都市宣言です。いま、堺市役所にはその塔が建っています。

非核平和宣言都市の塔（市役所前広場）非核平和都市宣言に関する決議

いま、世界は核保有国のはてしない核軍拡競争の中で、人類の生存そのものが脅かされている。私たちは世界ではじめて原爆の洗礼を受けた国民として再び「広島」「長崎」の惨禍を繰り返させてはならない責任を負っている。本市もかつての戦争で空襲による大被害を受け焦土と化した。もし今日、戦争が起これば一瞬のうちに潰滅するであろう。

今こそ、私たちは平和憲法と市民の平和で安全な生活を守るため、世界の人びとと手をつなぎ、核兵器の完全禁止を強く訴えるとともに非核三原則の堅持を政府に約束させ、将来にわたっていかなる核兵器、核関連部隊も本市内及びその周辺に配備、貯蔵を許さず、また通過航行も認めるべきではない。

私たちは平和な社会の実現を願う全市民の声に耳を傾け、すべての核兵器が廃絶されるまで行動することを確認し、ここに本市を「非核平和都市」とすることを宣言する。

昭和58年3月25日 堺市議会

この宣言は1983年、厳しい冷戦の時代のさなかに可決されたものであるだけに、たいへん貴重なものでした。

それから四半世紀が過ぎた2009年の4月5日、アメリカの新大統領オバマ氏はプラハで歴史的な演説を行いました。「私は核兵器のない世界の平和と安全保障を追求するという米国の約束を、明確に、かつ確信をもって表明する」と。そして、もう一方の核超大国であるロシアと交渉することを明らかにしました。画期的な演説で、同年のノーベル平和賞まで受賞しましたが、その後の核軍縮は思うように進みませんでした。

表1はアメリカ科学者連合（FAS）が公表した最新の核兵器保有状況です。米ロがダントツに多く保有しており、その核弾頭数は両者で計14,300発（ロ：7,300、米7,000）にも及んでいます。

表2は、1945年以來の核兵器数の変遷を示したものです。これもFASが公表したデータですが、2009年のオバマ演説ののちも、核軍縮は極めて停滞していることがわかります。START I（米ソ第一次戦略兵器削減条約、1991年調印）が同年に失効したことを受けて新STARTの交渉が進み、翌年4月、プラハで米ロ両国が調印、その後、両国で批准されたにもかかわらず、です。



写真1. 市役所前の「非核平和宣言都市」の塔

Status of World Nuclear Forces 2016*

Country	Deployed Strategic	Deployed Nonstrategic	Reserve/ Nondeployed	Military Stockpile	Total Inventory
Russia	1,790 ^c	0 ^b	2,700 ^c	4,490	7,300 ^d
United States	1,750 ^c	180 ^c	2,570 ^c	4,500 ^b	7,000 ^e
France	280 ^f	n.a.	10 ^f	300	300
China	0 ^g	? ^g	260	260	260 ^h
United Kingdom	120 ⁱ	n.a.	95	215	215 ^j
Israel	0	n.a.	80	80	80 ^m
Pakistan	0	n.a.	110-130	110-130	110-130 ⁿ
India	0	n.a.	100-120	100-120	100-120 ^o
North Korea	0	n.a.	? ^p	? ^p	? ^p
Total:^q	~4,000	~180	~6,000	~10,100	~15,350

表1. 2016年 世界の核兵器

(<https://fas.org/issues/nuclear-weapons/status-world-nuclear-forces/>)

Estimated Global Nuclear Warhead Inventories 1945-2016

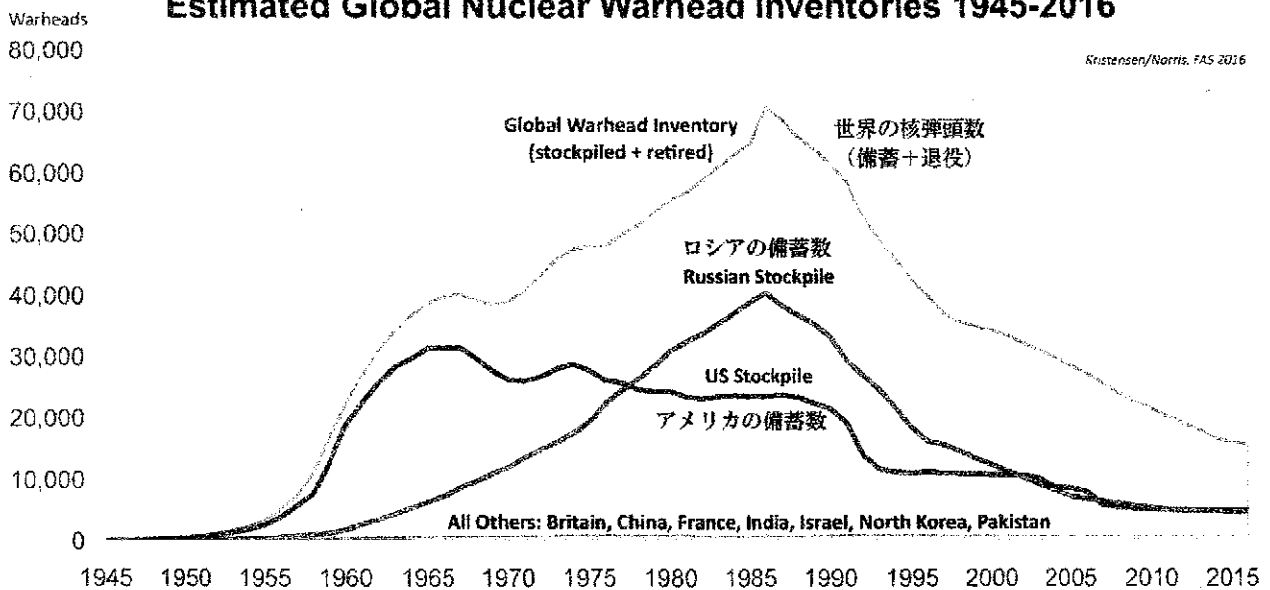
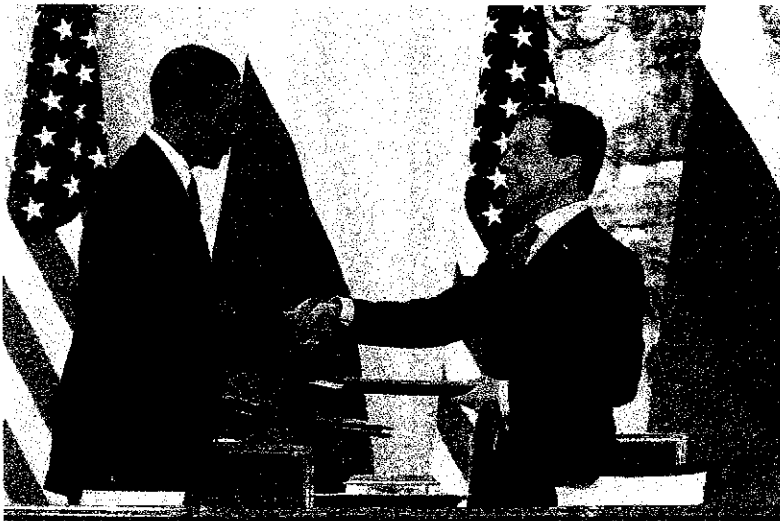


表2. 世界の核弾頭数の変遷

(<https://fas.org/issues/nuclear-weapons/status-world-nuclear-forces/>)



2010年のNPT再検討会議（ニューヨークで5年ごとに開催）では、行動計画を含む次のような最終文書の成果が挙げられています。

NPTの3本柱（核軍縮、核不拡散、原子力の平和的利用）それぞれについて、条約の運用のレビューと将来に向けた具体的な行動計画を含む最終文書を採択（前者については議長の責任によるペーパーとしてテークノートされ、後者については会議の合意文書として採択）。会議の成果として、主に以下の事項が盛り込まれたことが挙げられる。

- ・「核兵器のない世界」の達成に向けた直接的な言及
- ・核軍縮に関する「明確な約束」を再確認
- ・具体的な核軍縮措置につき核兵器国が2014年のNPT運用検討会議準備委員会に進捗を報告するよう核兵器国に要請
- ・中東決議の実施に関する現実的な措置（例：2012年の国際会議開催を支持）

（外務省HPより <http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/kaku/npt/gaiyo.html>）

ところが2015年は中東問題を巡る対立により、最終文書の採択にこぎつけることができませんでした。近年、米ロの対立は深まるばかりです。それでも、退任を来年に控えたオバマ大統領は今年の5月、現職の米大統領としては初めて被爆地広島を訪問し、なお核廃絶の姿勢を強調しました。

一方で、「核兵器禁止条約」をめぐる議論が3日、国連総会第1委員会で始まりました。メキシコやオーストリアなどが中心となり、約100ヶ国の支持をえているこの条約案に対し、核保有国9ヶ国をはじめアメリカなどの「核の傘」の下にある24ヶ国がこれに反対する構図でしたが、非核保有国が主導した「核兵器禁止条約」交渉開始を定めた決議が採択されました。

そもそも1970年に発効した核不拡散条約（NPT）は米ロ英仏中の5カ国だけに核兵器保有を認めるかわりに、第6条は核保有国側に核軍縮について誠実に交渉する義務を課しています。国際司法裁判所（ICJ）も1996年、「核保有国は核廃絶に向けた交渉を誠実にやり、完結させる義務がある」とし、2000年のNPT再検討会議の最終文書では核保有国側も、核兵器の廃絶を達成するとの「明確な約束」をしています。核保有国の一連の消極的態度は認めることができません。

12月12日から長崎にて国連軍縮会議が開かれます（国連と日本外務省が共催）。核兵器禁止条約に反対した日本政府の対応が問われるところです。この「たより」が皆さまのお手許に届く正月には、どんな結果となっているのか、大いに注目すべきです。

核なき世界へ。すぐには無理でも、そのような潮流を作り出していくために。そう願って、私たちは毎年原爆展を開いています。いまも世界には、人類を何度も絶滅させるほど大量の核兵器が配備されています。原爆被害は、いったん核爆弾が投下されると、周囲の人々は誰であれ、均しく被爆してしまうものであるがゆえに、核廃絶の願いはヒバクシャや2世たちだけのものではなく、実はすべての人々が避けることのできない当事者であるという点で、人類共通の悲願なのです。

☆被爆の実相を後世に伝える実行委員会報告

・被爆体験紙芝居

被爆体験のない私たち 2 世が被爆の実相を伝えるためのツールとして制作します。

制作費用を「街づくり夢基金」から補助してもらえないかと応募しました。(1 世の会では、以前「被爆者の絵のパネル制作」「被爆体験集の発行」にそれぞれ 30 万円補助をしてもらいました)

書類選考を通過し、プレゼンテーションの結果 3 番目の団体として、約 3 万円の補助をいただけることになりました。とりあえず、1 作品の完成を目指します。

※omoroi さかい実行委員会

- ・地元堺のおもしろいこと・ものを広報し、堺を盛り上げていこうという団体
- ・映像・写真・絵などのプロのスキルを持った人たちがいます。
- ・広長会とは 2015 年『広島・長崎原爆展』に取材に来られた時に出会い、「“おもしろい”ということではないが、広くみんなに知らせていくべきこと」と関心をもってくれました。

・語り部の DVD

1 世の方々の「今、残しておかなければ！」という強い想いで、制作されています。

昨年原爆展プレ展示から撮影がはじまりました。堺在住の方を中心に広島・長崎在住の方も含め被爆者の証言を収録し、ヒロシマ・ナガサキでの現地取材や核兵器についての学習と幅広い内容で、わかりやすく編集され、今までの語り部のお話をそのまま映したものとは違い、ドキュメンタリー作品として仕上がっています。

約 70 分と長めの作品ですが、キャプションに分けて見ることも出来、小中学校の平和学習にも使ってもらえます。

堺市の“後援”は難しいようで、教育委員会から各学校に配ってもらうことも出来ないかもしれませんが、自分たちの手で届けることを考えていきたいと思えます。



長崎の平和祈念像

朝 6 時過ぎに到着した長崎平和公園、今まで見たことのない風景でした

原爆ドーム

いつみても平和への想いを新たにします



・募金について

DVD・紙芝居制作には約 300 万円の費用が必要です。

募金をつのっています、まだまだ目標には遠く及ばない状況です。

会員の方はもちろん、周りの方にもぜひお願いしていただき、募金への協力よろしくお願ひします。

新春懇親会のご案内

1世、2世合同での懇親会です。皆様のご参加をこころよりお待ちしております。

日時 平成29年2月5日(日) 11時30分～14時

会場 デリシャス. ダイニング. サカイ

堺市堺区中瓦町2-3-22 テクノ大徳ビル3F

アクセス 南海高野線堺東駅徒歩1分 堺市役所前ビル3F

電話 072-238-2888

会費 5000円 (本人負担は2000円)

広長会より1000円、2世の会より2000円援助致します

申込 事務局へ電話またはFAX (072-289-5025)

締め切りは1月31日(火)です。キャンセルされる場合も1月31日までに必ず事務局にご連絡下さい。その日以降のキャンセル、または申し込まれたのに連絡なく来られなかった場合キャンセル料をいただくこととなりますのでご注意下さい。

被爆の実相を後世に伝えるDVD・紙芝居を制作するための募金へのご協力をお願いします

このDVD・紙芝居は堺市内の小中高校に配布し、核廃絶・平和教育に活用してもらうことを目的とするものです。毎号でのお願いで恐縮ですが、会員の皆様の募金活動へのご協力をお願い致します。

—お振込み先—

三井住友銀行

堺支店

口座番号

普通 7830349

口座名

被爆の実相を後世に伝える実行委員会

☆平成29年度定期総会

日時 平成29年4月16日(日) 午後2時より(予定)

会場 堺総合福祉会館 (詳細は後日はがきを送付します)

☆会費納入のお願い

今年度の会費まだ納入されていない方は宜しくお願い致します。

ゆうちょ銀行 00910-8-279646 加入者名: 堺原爆被害者2世の会

☆住所が変わられたら、事務局までお知らせ下さい。

電話・FAX 072(289)5025

☆ホームページ、フェイスブックも是非ご覧になって下さい。

堺原爆被害者の会 [検索](#)